

今日のキーワード 技術の進歩が映る「ヒット商品番付」(日本)

「ヒット商品」に関するランキングは、その時々流行や経済情勢を映す指標として注目され、複数の企業や団体が発表しています。例えば、日本経済新聞社は日経MJ「ヒット商品番付」として、消費動向や世相を踏まえて、売れ行きや開発の着眼点、産業構造や消費者心理に与えた影響などを総合的に判断し、相撲の番付になぞらえたランキングを発表しています。

ポイント1 2016年の横綱、東は「ポケモンGO」、西は「君の名は。」 ゲームや映画の中に、実際の街並みが登場し人気に

- 12月7日に発表された日経MJの2016年「ヒット商品番付」では、東は「ポケモンGO」、西は「君の名は。」が横綱となりました。「ポケモンGO」は世界中で若者から中高年まで幅広い世代層で人気となり、スマートフォン（スマホ）を片手に熱中する人が街や公園に集まり、各地で関連イベントが開催されるなど経済的波及効果が見られました。「ポケモンGO」では拡張現実（AR）という技術により、実際の背景にキャラクターを投影することで、現実世界にキャラクターが出現したような感覚が楽しめます。西の横綱「君の名は。」や東の大関「シン・ゴジラ」でも実際の街並みが取り入れられたことが、人気となった大きなポイントの一つのようです。

ポイント2 西の大関は「AI」 スマホ発の流行も続々と誕生

- 西の大関「AI（人工知能）」はディープラーニング（深層学習）という技術の進歩により、今年、難しいとされていた囲碁でプロ棋士に勝利するまでになりました。また、東の関脇「セナ」は自動運転技術の搭載によって人気となりました。
- 今年は「ポケモンGO」のみならず、様々なスマホ発の流行が生まれました。東西の前頭には、ダウンロード件数が4,000万件超のフリーマーケットアプリ「メルカリ」や、写真を投稿するアプリ・インスタグラムで共有したくなる写真映える商品が人気化する「インスタ映え消費」などが入りました。



今後の展開 先端技術の実現化による日常や経済の活性化に期待

- 「AI」は今年上半年の西の関脇に続き、年間の番付にもランクインしました。その技術の進展により、来年には話しかけるとその要望に合わせて家電を操作するロボットの登場なども予定されています。かつて映画や書籍の中の話だった先端技術もどんどんと実現化し、私たちの日常や経済が活性化することが期待されます。

※個別の商品及び関連企業に言及していますが、これらを推奨するものではありません。

こども
チェック! 2016年12月 6日 実現へと動き出した「統合型リゾート」(日本)
2016年11月18日 「外国人旅行者」は2,000万人突破 (日本)

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友アセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。